

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	婦人文庫「飯伊読書会の歴史」出版助成事業				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	5	細目	11	細々目	1	19予算額(千円)	0	
部等名	教育委員会 課等名 図書館				包含する細々目															
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり																			
施策	28 学習交流活動の推進																			
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等														
		事業期間	18	年度～	18		年度													

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯伊読書会の歴史「みんなとだから読めた！」の出版	出版部数(部)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			550			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
「読書会の歴史」の出版を機に、飯田下伊那の読書会を活性化し、連絡会の組織や新たな読書会事業の展開を目指す。	飯田下伊那読書会連絡会加盟団体数	18目標	20	最終目標	18	
		18実績	29	19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	読書普及団体である飯伊婦人文庫は、図書館を活動拠点に平成9年「飯伊婦人文庫40年の歴史」を、平成13年に「つながり・聞き書き女性の読書」を出版した。 今回「大正時代から現在までの飯伊における読書会の歴史資料集の編集を進めている。出版されると、飯伊地方における婦人と読書の記録3部作が完成する。前出2冊の出版を契機に学校、公民館等でライフヒストリーを語る活動が継続して行われ、その発展的活動として中学生との読書会、高校生との読書会が実現している。 今回の資料集作りは聞き取り調査、現地調査、資料調査をへて編集作業へと入る。出版される資料集をもとに集団読書の必要性を説き、幅広い年齢での読書会の可能性を示すことによって、今後の読書活動に新たな展望を開く活動としていく。	「読書会の歴史」～大正時代から現在まで～の編集出版を行う。併せて飯田下伊那地方における読書会を把握し、飯伊読書会連絡会を組織する。資料集はB5判1000部出版し、500部を配布し500部を頒布する。 出版された本を元に飯伊レベルの読書会普及活動に発展させ、集団読書を普及させる運動へつなげる。	出版資料集販売数(冊) 飯伊読書会連絡会加盟団体数	550 20
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	600	
事業費計(A)	600	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 10	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	36	0
	トータルコストA+B	636	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	読書による人と人のつながりの輪が広まり、多様なネットワークが広がる。これにより学びの機会が得られる。	学習活動を行っている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成9年にみんなで読もう飯伊婦人文庫の40年の歴史の出版によって、自分たちの活動の軌跡が明確になり、方向性が定められた。 平成13年に「つながり～聞き書き女性70人の読書と人生～」を出版することによって、読書が人の成長に与える影響を科学的に実証する資料として提示し、これをきっかけに中学校、公民館との交流が生まれた。読書会の可能性を追求する活動がその後も展開され、今回の資料集づくりにつながっている。	近年幼児・小学生を対象とした読みきかせ事業は注目され、各種事業展開がなされているが、一般成人読書に関する科学的な資料が少なく、中高生・一般向けの読書事業の必要性は唱えられながらも有効な施策が組めない現状である。	飯伊婦人文庫の活動は県下、全国から注目されている。また中学生・高校生との読書会も実施し、独自の手法と指導の実力は高く評価されている。 全国的には読書会は縮小傾向にあるが、研究によって裏付けられた読書会手法は関係者から注目されており、成人読書の可能性等今後の活動の展開を多いに期待されている。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	